藤田 鴻汰
Fujita Kota

真庭人

MANIWABITO

まにわ鉄道模型ショーを初開催

今年6月、鉄道模型の展示・走行会『まにわ鉄道模型ショー』が初開催されました。企画したのは、鉄道模型をこよなく愛する藤田鴻汰さんです。「レールの継ぎ目でカタンコトンと音が鳴るところや、実際の景色に近づけたジオラマと組み合わせると本当にそこにいるように感じるところが、鉄道模型の魅力ですね」と目を輝かせます。

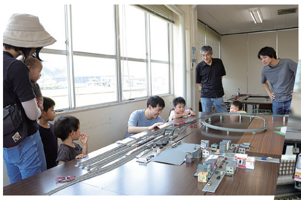
藤田さんは2022年に就職を機に茨城県から真庭へ移住しました。建築関係の専門学校で学んでいたことから、木材・建築に関わる仕事に携わりたいと考えていたそうです。就職活動中、真庭での二拠点生活を紹介するオンラインフォーラムに参加したところ、木材産業が盛んなことや、人との交流が活発なことに引かれ、実際に真庭を訪れた上で移住を決めました。

もっと皆さんに喜んでもらいたい

藤田さんが鉄道模型ショーを企画したきっかけは、昨年、幻の路線『南勝線』を題材にしたイベントに参加したことでした。その後、「自分も何か鉄道で地域を盛り上げるイベントをしたい」と思っていたところ、イベントに鉄道模型を出展するチャンスが巡ってきます。「出展すると、子どもたちにとても好評で、もっと皆さんに喜んでもらいたいと思い、まにわ鉄道模型ショーを企画しました」と振り返ります。そして6月に初開催すると、来場者、特に子どもたちが楽しそうにしており、とてもやりがいを感じたそうです。

「今後は、来た人が体験できるものを少しずつ取り入れていきたいです。11月に2回目の鉄道模型ショーを開催しますし、その後も3回、4回と続けていきたいと思います」と意欲を見せる藤田さん。好きなことを生かした活動が、地域の笑顔につながっていきます。

第１回まにわ鉄道模型ショーの様子



コレクションの一部

藤田 鴻汰さん（久世）

茨城県出身。製造業勤務。幼少期のクリスマスプレゼントがきっかけで鉄道模型を好きになる。住んでいる地域の車両を集めることがこだわり。鉄道に乗ることも好きで、姫新線では勝山駅から新見方面の渓谷沿いの区間が好き。休日は鉄道での旅行や、ドライブ、音楽・アニメ鑑賞などを楽しむ。11月9日に第2回まにわ鉄道模型ショーを開催予定。

まにわびと
69
2025